



報道関係者各位

令和元年 7 月吉日

株式会社 BJIT

BJIT がバングラデシュで AI 人材に特化した人材育成事業を開始

日本国内向けに年間 100 名の AI 人材を育成

バングラデシュでオフショア開発事業を手掛ける、株式会社 BJIT（本社：東京都港区/代表取締役社長：明石 康弘）は、バングラデシュ/ダッカ（首都）の BJIT アカデミー内において、AI 人材（※1）に特化した 高度 IT 人材の育成事業を開始します。

近年の AI 技術の実用化の波は止まるところを知らず、その適用範囲は拡大を続けています。AI を実用的に活用させるには、多量のデータを適切に整理し、数理的な知見に基づいて AI 技術を利用し、そこから得られた結果を適切にフィードバックする AI 人材（AI サイエнтиスト、AI エンジニア、AI プランナー）が不可欠です。経済産業省の IT 人材需給に関する調査（概要）によれば、2018 年時点で 3.4 万人の AI 人材が不足しており、今後日本国内の大学機関からの卒業生、企業内での育成による AI 人材の供給が増加しても、2030 年には 12.4 万人の AI 人材が不足すると試算されています。

こうした状況の中、BJIT では AI 技術を活用した様々な海外オフショア開発の豊富な経験と、日本の国立大学との連携による日本語の語学教育ノウハウを活用しながら、日本国内企業向けに日本語教育と合わせて年間 100 名の AI 人材を育成し、将来益々需要の拡大が予想される AI 人材ニーズに対応していきます。今後は、AI 技術トレーニングにおいて国内外の大学や研究機関との連携をさらに強化しながら、産学一体による AI 人材の育成体制を構築してまいります。

<AI 人材育成の概要>

◆BJIT アカデミー AI トレーニング

理論・演習の 2 部で構成され、基礎数学から、統計解析（線形回帰分析・重回帰分析）、機械学習の各モデル（CNN、RNN 等）、ディープ・ラーニングまで、3 ヶ月間 BJIT アカデミー所属の AI 技術講師が指導を行い、演習では、Python 言語をベースに scikit-learn、NumPy、Pandas、PyTorch、Tensorflow を使って実習を行います。



◆BJIT アカデミー 日本語トレーニング

日本語を初めて学習する初学者に対して、日本で就労することを前提とした会話主体の3ヶ月間のアクティブラーニング型語学研修によって、日本語検定試験（JLPT）N5～N4レベルの語学学習を目指し、さらには、日本のビジネス文化・マナーを日本人の日本語講師が現地でバングラデッシュ人エンジニアに指導します。

<バングラデッシュについて>

近年、大きな経済成長を遂げているバングラデッシュは、BRICsに次ぐNEXT11のひとつにも挙げられています。同国の政府は、独立50周年にあたる2021年までに中所得国になることを目指し、包括的政策である「ビジョン21」を掲げており、その中心のひとつに、社会のあらゆる分野でIT技術の導入を促進する「デジタル・バングラデッシュ」があります。「デジタル・バングラデッシュ」推進のため、政府が主導してIT分野における人材育成を積極的に進めており、高い技術力を持ったIT技術者が多く輩出されています。また、英語能力が高く（近年のTOEICの非母国語国では世界トップの平均895点、2014年）、親日国としても知られています。

（注：※1）AI人材とは、AIを実現する数理モデルについての研究者（ただし、学術・研究機関を除く）やAI機能を搭載したソフトウェアやシステムの開発者、AIを活用した製品・サービスの企画・販売者を「AI人材」として定義。（参考：経済産業省「IT人材需給に関する調査」2019年4月）

■株式会社BJIT 会社概要

名称：株式会社BJIT

本社：東京都港区芝5-1-13 三ツ輪三田ビル5F

代表者：代表取締役社長 明石 康弘

URL：<http://www.bjit.co.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社BJIT 営業部 和島

電話：03-6453-8740 (Mail：info@bjitgroup.com)